

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院



病院全景



創設者 大原 孫三郎



- 倉敷紡績
- クレ
- 中国電力
- 中国銀行

- **倉敷中央病院**
- 大原農業研究所
- 大原社会問題研究所
- 倉敷労働科学研究所
- 大原美術館

■ 大正12年（1923年） 倉紡中央病院として開院



理想主義と人間重視
本質的社會問題の
解決にチャレンジ

病床数	83床	診療科	7科
医師数	24人	看護師数	31人

設立1923年（大正12年）



創設者
大原孫三郎
(1880-1943)

尊敬
←→
多大な影響



岡山孤児院は入所制限をしなかったため、最大で1200人にも上った（右上の円内は十次）

石井十次氏（児童福祉の父）

キリスト教的人道主義（人格主義）
「社会から得た富は社会に還元すべきである」

倉敷中央病院設立の理由

1. 倉敷紡績の従業員の健康を守るため、医療体制を充実すべき
2. 社会的・経済的に医療の機会に恵まれなかった市民にも、
医療の恩恵を広め、**貧困と病気の悪循環を断ち切るべき**
3. 1918年、スペイン風邪が大流行した際、十分な治療が受けられず
多数死亡した惨状を見て、一般市民にも開放し、この地に最新の**医療を提供すべき**

私達の目指す病院

いつまでも地域にとってかけがえのない病院

わたしたちの基本理念

私達は、地域住民の健康を守るため、最高・最新の医学による最良の医学を志向し、次のことを実践します。

1. 患者本位の医療

患者としてではなく一人の人間としての生き方を尊重

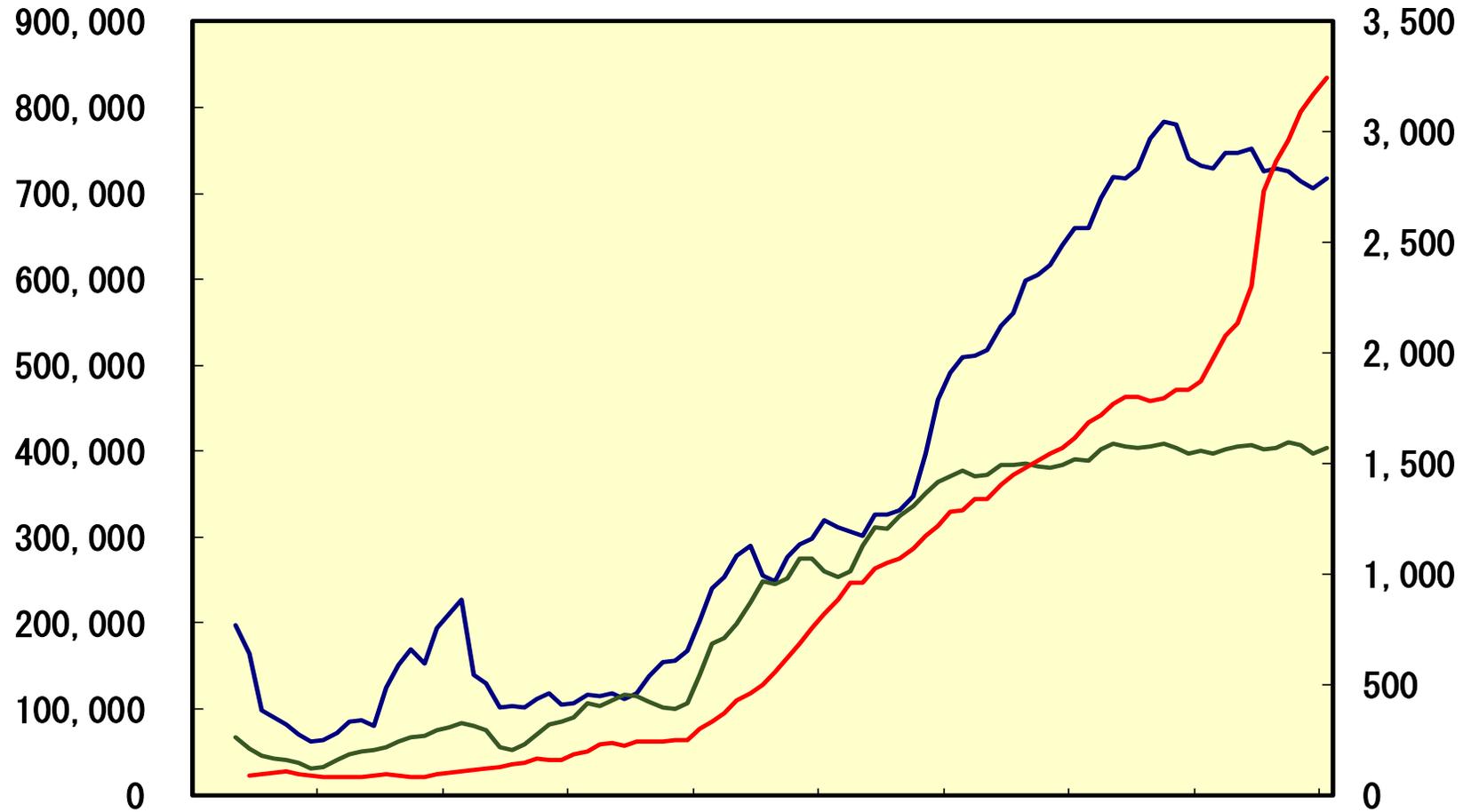
2. 全人医療

病状だけでなく背景等も考慮しスタッフ間で患者全体をみてアセスメント

3. 高度先進医療

新しい薬や最新治療法の知識や技術の習得

多くの人が集まる病院





当院の概要（2020年度）

病床数 1,172床

職員数 3,776人（2021年4月）

障害者 45名（身体障害 27名、精神障害 7名、知的障害 11名）

平均在院日数 11.4日

新入院患者数／年 27,663人

入院1日平均患者数 937人

外来1日平均患者数 2,492人

救急患者数／年 38,226人（救急車受入数（院外分） 9,844件）

手術件数 12,701件

関連施設 倉敷中央病院附属予防医療プラザ、倉敷リバーサイド病院（130床）等

障害者雇用の方針・取り組み

■ 風土・仕組みづくり

互いの多様性を認めて協力し合う関係性を築ける風土を醸成し、障害者一人ひとりの能力に応じた業務を創出し、チャレンジする気持ちを尊重する。期待されている・役に立っていることを実感しモチベーションアップにつなげる。

■ 指導・教育

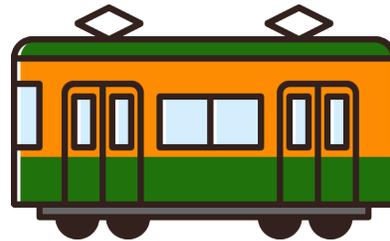
指導は能力に応じて、できるまで時間をかけて実施。
長期的に継続できる発展的な障害者雇用を実現する。
指導者及び指導者となり得る障害者を育成できる組織作りを行う。

■ 入職後のアフターフォロー

安心して安全に働けるよう定着に向けたサポート体制を構築。

業務時間・休日等 通勤手段等

- 勤務時間 8：45～17：30
- 休日 土・日・祝日（年5回程度祝日稼働日あり）
- 通勤手段 自転車・バス・電車等

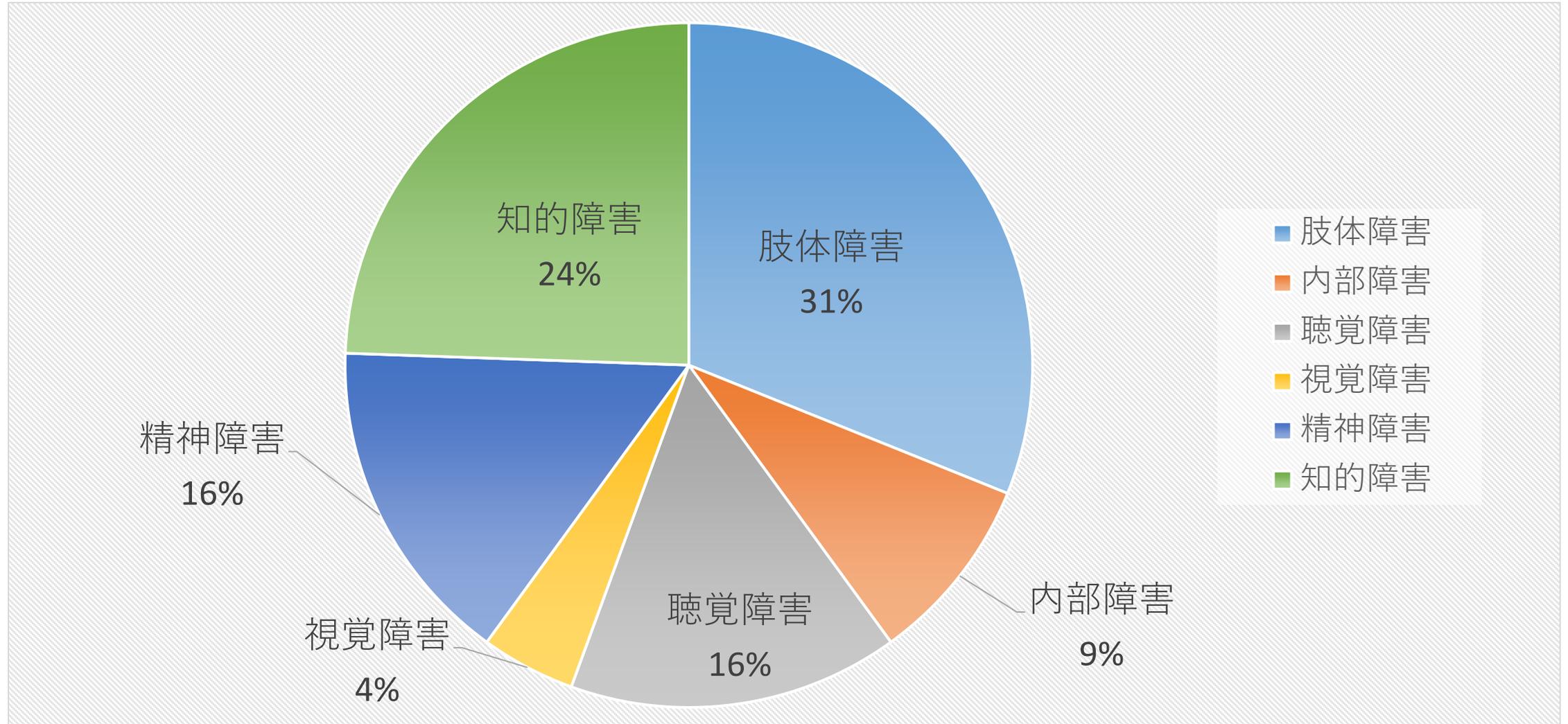


求める人材

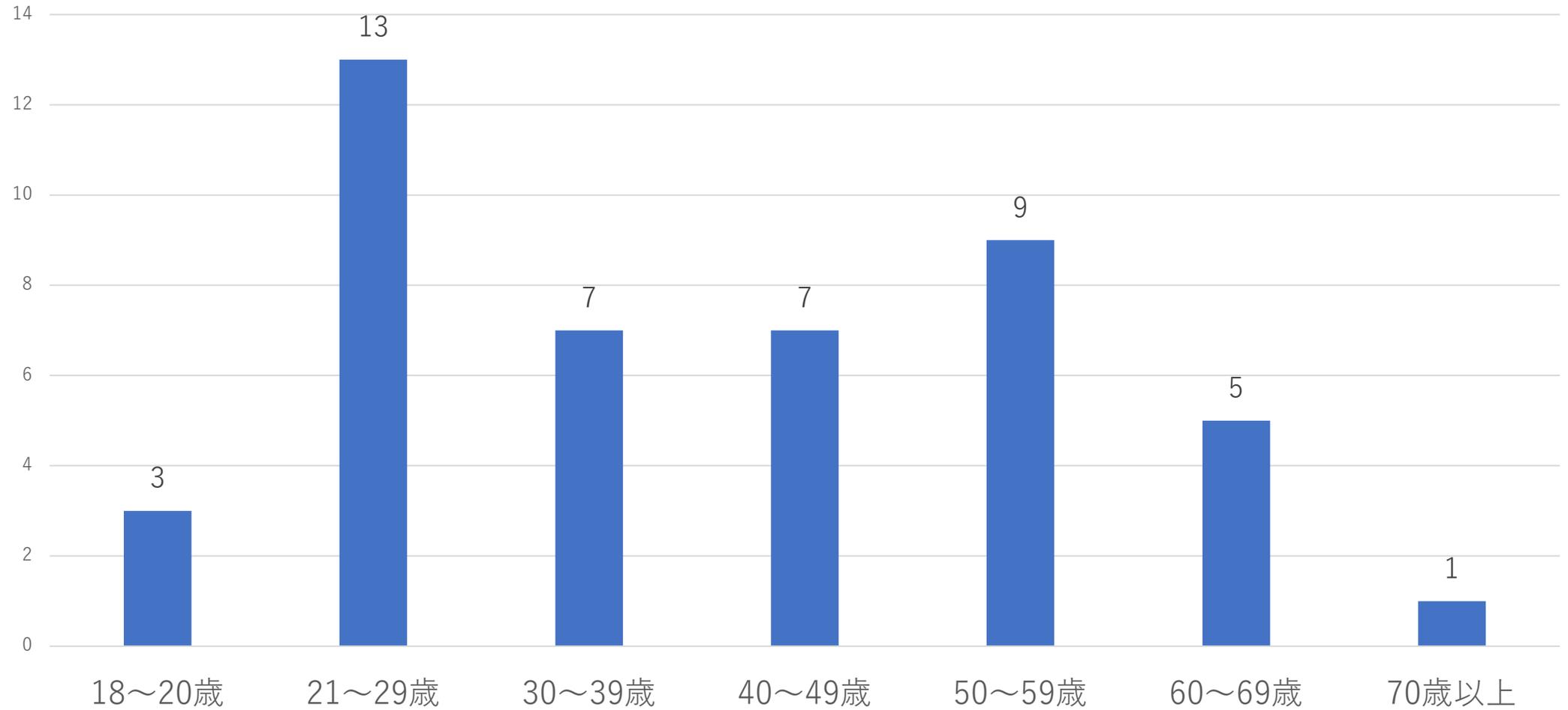
- 明るく礼儀正しい方
- 素直にコツコツと業務に取り組める方
- 搬送業務では院内のルートを周回するため体力に自信のある方



障害者の内訳 <障害別>



障害者の内訳 <年代別>



働いている方々の様子



障害者の
主な事業内容

搬送業務（カルテ・書類・薬品・医療機器・医療材料）、印刷業務、軽作業、園芸、マッサージ（職員対象） 等

病院からのメッセージ

「働きたい」という思いに応えられるように障害を起因とする業務上の困難さに配慮し、得意な事を伸ばし、できる可能性を引き出して一緒に働く仲間としての成長を支援したいと考えています。

是非、私たちと
一緒に頑張りましょう！！

